

高野参詣登山

国史跡黒河道

雑事登り

ZOUJI・NOBORI (健脚・中級向き)

平成27年 11月23日(月・祝)

集合：JR・南海橋本駅前 8時10分

解散：奥之院御供所 16時00分

参加費：500円 当日払い(傷害保険料・資料代として)

募集人数：先着80名(A, B: 15名, C: 50名) 「事前申込制：裏面参照」

高野七口と呼ばれる参詣ルートのひとつ黒河道を歩き橋本から峠越えを重ねて高野山奥之院に向かいます。途絶えていた雑事のぼりを復活し、生身供の材料に使っていただく野菜など前日の午後、応其寺又は定福寺にお寄せいただいたものを運びます。(小雨決行)

※標高差 850m。一部に道幅が狭いなど、歩行に注意を要する箇所があります。少雨決行。当日 6:00 現在で、現地に気象警報が発表されている場合は中止します。

雑事(ぞうじ)のぼり

御番(判)雑事ともいい、高野山周辺の村々にあった風習。季節の野菜・果物などを奥之院御廟に供え、寺院に贈る。当番制で各家から集めたものを「負い籠・オウヨ」に担ぎ山道を登り弘法大師に捧げた。街道筋では季節の花や野菜を軒先(雑事懸け)に出しておく、高野へ物資を運ぶ折りに積んで登った。

生身供(しょうじんぐ)

1日2回お大師さまの食事を運ぶ儀式。奥之院の御廟には、今も弘法大師空海が金剛定に入っているとされ、維那(ゆいな)と呼ばれる僧侶が、1200年にわたって給仕しています。

別途、「黒河道と国城山麓周遊コース」の募集があります。(先着20名 主催：橋本観光ガイドの会)

問い合わせ：はしもと広域観光案内所(9:00~17:00・水曜定休 TEL0736-33-3552)

(※案内所にガイドの会は常駐しておりません。案内所職員が受付し、改めてガイドの会スタッフより直接連絡させていただきます。)

生身供

- 主催 高野七口再生保存会
- 共催 黒河の会・橋本観光ガイドの会
- 協力 応其寺・定福寺・ふる里の山に花をの会・中島大師講・高野口文化財研究会
- (順不同) 高野山大学・くにぎ広場・農産物直売交流施設組合
- 後援 橋本市・橋本市教育委員会・九度山町・九度山町教育委員会・高野町・高野町教育委員会・FMはしもと